

2025年3月期 第3四半期 決算短信補足資料 (2024年4月－2024年12月)

2025年2月10日

マルハニチロ株式会社(TSE:1333)



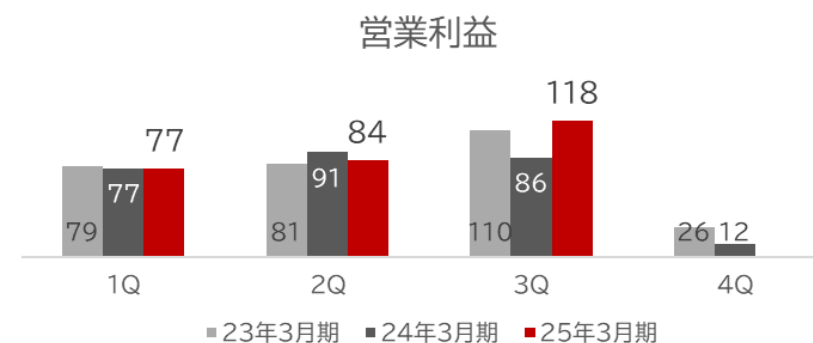
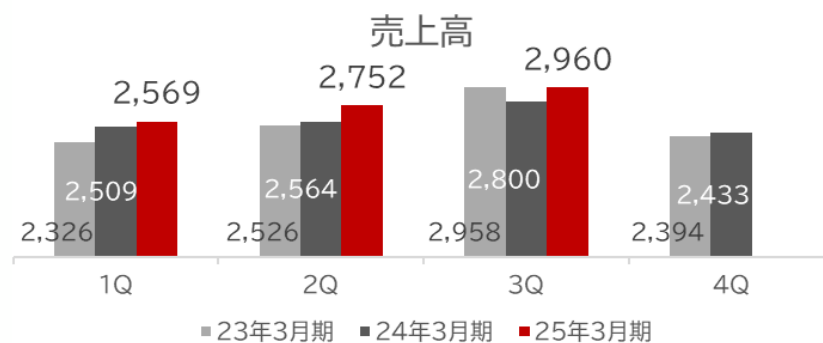
2025年3月期 第3四半期概況

第3四半期 決算のハイライト

- <売上高> 水産資源セグメント及び加工食品セグメントの販売数量増により、増収
- <営業利益> 食材流通セグメントの水産物販売好調及び加工食品セグメントのペットフード事業(タイ)の好調により、増益

(単位:億円)

	25年3月期 第3四半期	24年3月期 第3四半期	前年対比		年間計画	
			増減	増減率	計画値	計画比
売上高	8,281	7,873	408	+5.2%	10,500	78.9%
営業利益 (営業利益率)	278 (3.4%)	254 (3.2%)	25	+9.8%	300	92.8%
経常利益	310	302	8	+2.6%	320	97.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	224	8	+3.6%	220	105.6%
EBITDA	439	399	39	+9.8%	500	87.7%

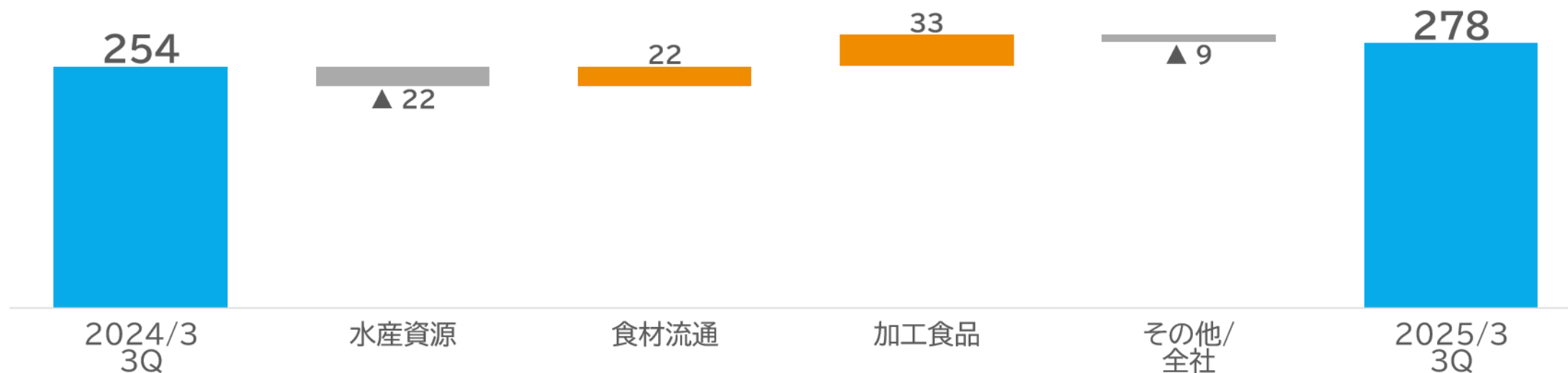


第3四半期 営業利益の増減要因(前年対比)



(単位:億円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



(養殖) 生産コストの上昇 (北米) スケソウダラ相場が引き続き軟調な展開	(水産商事) 適正に在庫管理し、運転資金を効率化 (農畜産) コスト上昇を販売価格に反映	(加工食品) 生産性向上。タイのペットフード事業が好調に推移 (ファインケミカル) 医薬品向けの販売が底堅く推移
--	---	---

水産資源セグメントは、前年対比で減益(セグメント営業利益: 19億円)

- 養殖ユニットは、高水温による養殖魚の成長遅れや飼料代などの高騰による原価上昇などにより、減益
(養殖ユニット営業利益 Δ 6億円、前年対比 Δ 13億円)
- 北米ユニットは、主力のスケソウダラ(北米)のすりみ・フィレの相場が軟調な展開が続き、減益
(北米ユニット営業利益 24億円、前年対比 Δ 15億円)

食材流通セグメントは、前年対比で増益(セグメント営業利益: 124億円)

- 水産商事ユニットは、適正在庫の管理を徹底し、運転資金の効率化に注力したことにより、増益
(水産商事ユニット営業利益 59億円、前年対比 +26億円)

加工食品セグメントは、前年対比で大幅な増益(セグメント営業利益: 119億円)

- 加工食品ユニットは、生産性向上及びペットフード事業(タイ)が好調に推移し、増益
(加工食品ユニット営業利益 110億円、前年対比 +33億円)

第3四半期 連結貸借対照表

(単位:億円)

	24年12月末	24年3月末	増減	主な内容(前期末比)
流動資産	4,644	4,050	594	現預金(+78)、売上債権(+377)、棚卸資産(+102)
固定資産	2,595	2,668	△ 73	有形固定資産(+8)、無形固定資産(△7)、投資有価証券(△85)
資産合計	7,239	6,718	521	
流動負債	2,820	2,730	90	仕入債務(+151)、短期借入金(△215)、 コマーシャルペーパー(+200)
固定負債	1,746	1,534	212	長期借入金(+66)、社債(+150)
負債合計	4,566	4,263	303	
株主資本	1,971	1,789	182	利益剰余金(+182)
その他包括累計	270	283	△ 13	
非支配株主持分	433	384	49	
純資産合計	2,673	2,455	219	
負債純資産合計	7,239	6,718	521	
有利子負債	3,045	2,844	201	(コマーシャルペーパー+200、社債+150を含む)
自己資本比率	30.9%	30.8%	0.1	

【資産の増加 +521億円】

- ・季節要因による棚卸資産の増加
- ・販売増に伴う売上債権の増加

【負債の増加 +303億円】

- ・有利子負債の増加
- ・仕入債務の増加

第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

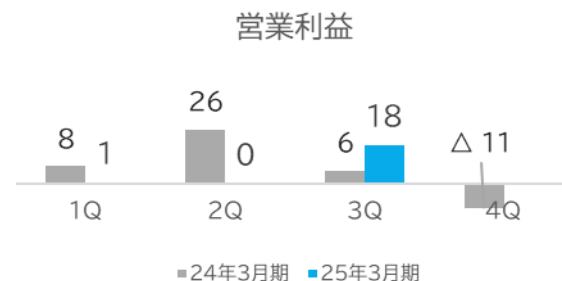
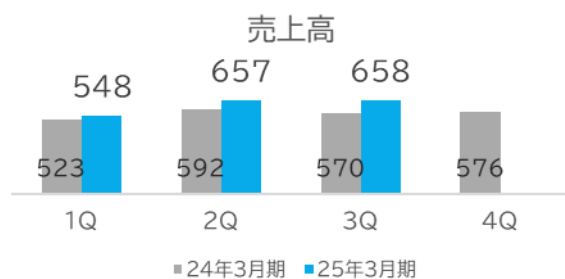
(単位:億円)

	25年3月期 3Q	24年3月期 3Q	増減	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 43	175	△ 218	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 (405) ・減価償却費(のれん含む) (140) ・投資有価証券売却損益<益:△> (△92) ・売上債権の増減額<増加:△> (△370) ・棚卸資産の増減額<増加:△> (△79) ・仕入債務の増減額<減少:△> (140) ・法人税等の支払額 (△116)
投資活動による キャッシュ・フロー	21	△ 101	122	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 (△125) ・投資有価証券の売却償還による収入 (121) ・利息及び配当金の受取額 (24)
財務活動による キャッシュ・フロー	83	△ 83	166	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の増減額<減少:△> (△119) ・長期借入金の増減額<減少:△> (△32) ・コマーシャル・ペーパーの増減額<減少:△> (200) ・社債の発行による収入 (149) ・配当金の支払額 (△50)
現金・現金同等物の 期末残高	449	343	106	—

養殖魚の原価上昇や、スケソウダラ相場(北米)の軟調な展開が続き、全体で54%減益

(単位:億円)

	ユニット	25年3月期 3Q	24年3月期 3Q	前年対比	
				増減	増減率
売上高	漁業	341	277	64	+23.3%
	養殖	132	125	7	+5.8%
	北米	1,390	1,284	106	+8.3%
	セグメント計	1,863	1,685	178	+10.6%
営業利益		19	41	△ 22	△53.5%
営業利益率(%)		1.0%	2.4%	△ 1.4	—



● 漁業

カツオ(ミクロネシア)の魚価下落やカラスガレイ(大西洋)の漁獲減の一方、メロ(オーストラリア)の堅調な販売やイカ・アジ(ニュージーランド)などの漁獲増により、増収増益。

● 養殖

ブリ・カンパチの販売価格の上昇などにより増収も、高水温による成長遅れや飼料代などの高騰による原価上昇などにより、減益。

● 北米

<北米>

マダラ製品などの販売数量増により増収も、主力のスケソウダラのすりみ・フィレの相場が引き続き軟調な展開が続き、利益率低下により減益。

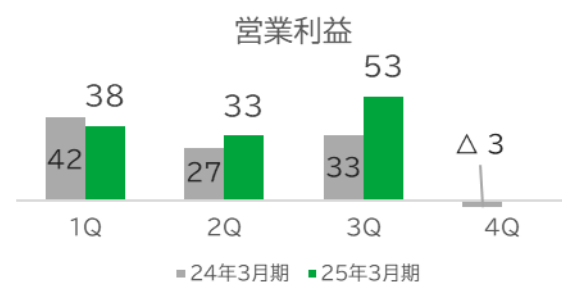
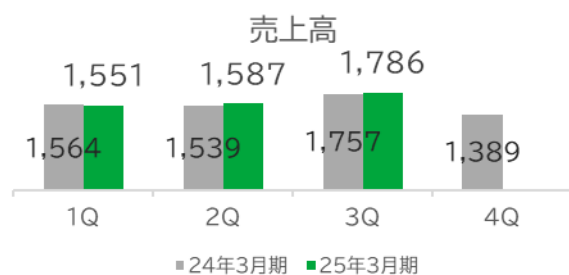
<欧州>

高利益商材の販売に注力したこと、及び販売数量の拡大により、増収増益。

水産商事・農畜産における収益向上により、全体で21%増益

(単位:億円)

	ユニット	25年3月期 3Q	24年3月期 3Q	前年対比	
				増減	増減率
売上高	水産商事	2,351	2,360	△10	△0.4%
	食材流通	1,842	1,780	62	+3.5%
	農畜産	731	720	12	+1.6%
	セグメント計	4,924	4,860	63	+1.3%
	営業利益	124	103	22	+21.1%
	営業利益率(%)	2.5%	2.1%	0.4	—



● 水産商事

適正在庫の管理を徹底し、運転資金の効率化に注力したことで、売上高は前年並み、増益。

● 食材流通

グループ内の連携を強化し販路拡大に努めたほか、量販・外食・介護食が堅調に推移し、増収。一方、在庫削減や業務効率の改善、生産性向上に努めたものの、生産コスト増加分を補いきれず、減益。

● 農畜産

輸入豚肉の産地価格の高騰や、円安の進行などによるコストの上昇を販売価格へ反映できたことにより、増収増益。

生産性向上及び、ペットフード事業の北米向け販売が好調に推移し、全体で39%増益

(単位:億円)

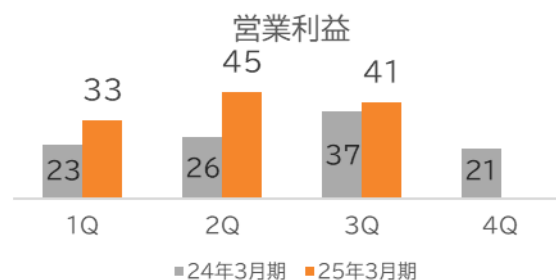
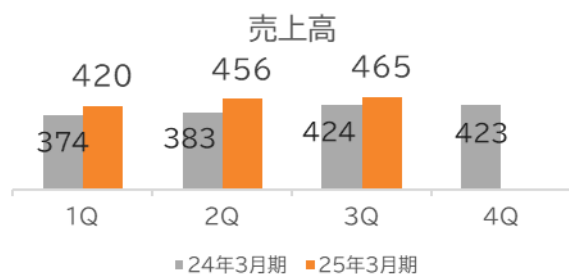
	ユニット	25年3月期 3Q	24年3月期 3Q	前年対比	
				増減	増減率
売上高	加工食品	1,285	1,127	159	+14.1%
	ファインケミカル	56	54	2	+3.7%
	セグメント計	1,342	1,181	161	+13.6%
	営業利益	119	85	33	+39.2%
	営業利益率(%)	8.8%	7.2%	1.6	—

● 加工食品

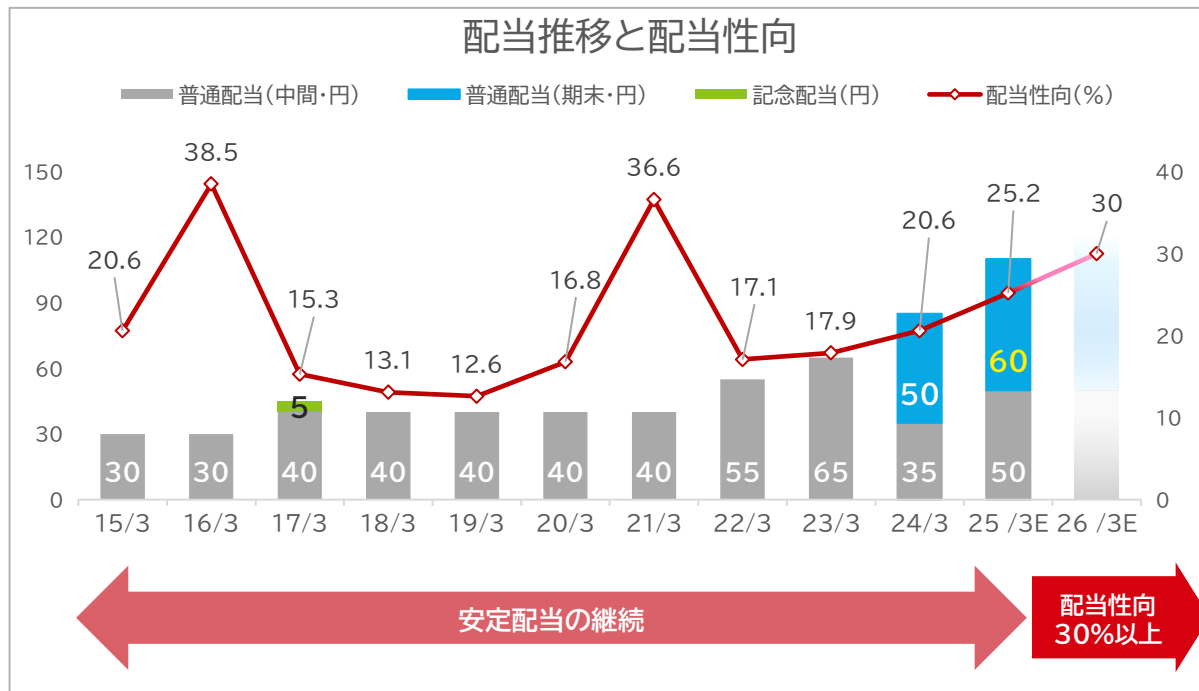
主力商品の販売増加及び広告宣伝の強化、ペットフード事業の販売好調が売上に寄与。また、生産性向上とペットフード事業(タイ)の、主に北米向け販売が好調だったことにより、増収増益。

● ファインケミカル

医薬品向けの販売が底堅く推移し、増収増益。



● 期末配当金を10円増配し、1株当たり60円の配当を予定



2025年3月期第3四半期連結会計期間における 政策保有株式に関する動き

政策保有株式の売却(投資有価証券売却益 累計92億円)

株式持合い関係の見直しによる当社株式の売出し
(売出価額総額 約111億円※・2024年9月実施)

※オーバーアロットメントによる売出価額を含む

- ✓ 中間配当:1株当たり50円
- ✓ 期末配当:1株当たり60円を予定 (年間110円)
- ✓ 配当政策:次期中期経営計画で公表予定(配当性向30%以上をめざす)
- ✓ 財務規律の維持を前提に、株主価値の向上に向けた施策を随時検討
- ✓ 政策保有株式:今後も売却による資産圧縮を進め、資本を有効活用する (2026年3月期末を目安に、3分の2以上の売却をめざす)
- ✓ 売却資金使途:成長投資・人財投資・株主還元などへの充当を検討 (来期より始まる次期中期経営計画にて公表予定)

通期の見通し・施策

- 水産資源セグメントの厳しい事業環境は継続する見込み
- 食材流通セグメント及び加工食品セグメントは堅調に推移
- 通期計画の達成に向けて、引き続き着実に施策を遂行していく

(単位:億円)

	25年3月期 第3四半期	25年3月期	年間計画比
売上高	8,281	10,500	78.9%
営業利益	278	300	92.8%
経常利益	310	320	97.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	232	220	105.6%

厳しい事業環境は継続するも、コスト低減策や生産性の向上に努める

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 3Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	漁業	341	462	73.8%
	養殖	132	166	79.5%
	北米	1,390	1,800	77.2%
	セグメント計	1,863	2,428	76.7%
	営業利益	19	75	25.2%
	営業利益率(%)	1.0%	3.1%	—

● 漁業

燃油などコスト面での厳しい事業環境は継続する見込み。操業隻数・時期などを含めて操業体制を見直すほか、販売ルートを多様化させる。

● 養殖

2024年末にかけてブリは引き合いが強く、相場は強含みで推移。一方、飼料代は高値水準、国内マグロ相場は軟調を予想。原料価格の低減施策を進めながら、アジアを中心とした輸出拡大に注力し、販売価格の引き上げに努める。

● 北米

<北米>

スケソウダラの相場は、引き続き軟調な展開ではあるものの、市場における供給量の変化により上向きつつある。消費は底堅い一方、事業コストは高止まり。生産及び販売アイテムの最適化と生産効率の最大化を図る。

<欧州>

水産物は全般的に軟調な相場が続くも、底を打ち反転の兆し。引き続き寿司ネタやアジアフードなどを中心に販売を強化し、販売数量を拡大させる。

生産・調達コストの上昇を懸念。顧客起点のもと、環境の変化に速やかに対応していく

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 3Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	水産商事	2,351	2,858	82.2%
	食材流通	1,842	2,459	74.9%
	農畜産	731	849	86.1%
	セグメント計	4,924	6,166	79.9%
	営業利益	124	100	124.4%
	営業利益率(%)	2.5%	1.6%	—

● 水産商事

輸入水産物の産地供給が不安定で、国内搬入量・在庫量は減少傾向。為替動向も不透明なことから今後在庫のひっ迫と水産物価格の上昇が予想される。万全な供給体制を構築しながらも、引き続き適正在庫を徹底。また、グループ内協業を一層加速させて強固な事業基盤を構築する。

● 食材流通

引き続き生産コストの上昇を懸念。グループ内連携の強化や生産・販売両面での効率化を継続し、全体最適を図る。

● 農畜産

調達コストは高値水準が継続するも、国内市場は低価格志向が継続。国内外の調達網を活用して変動する環境への適時対応に努める。

ペットフード事業(タイ)は引き続き好調に推移する見込み

(単位:億円)

	ユニット	25年3月期 3Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	加工食品	1,285	1,630	78.8%
	ファインケミカル	56	81	69.7%
	セグメント計	1,342	1,712	78.4%
	営業利益	119	118	100.6%
	営業利益率(%)	8.8%	6.9%	—

● 加工食品

国内加工食品事業は2~3月に価格改定を実施。広告宣伝を継続し、価格改定後も堅調な販売維持に努める。ペットフード事業(タイ)は引き続き好調に推移する見込み。

● ファインケミカル

主要顧客の在庫調整やサプリメントなど健康食品の需要低下など、厳しい事業環境の継続を見込む。既存品の拡販や藻由来のDHAなど新規の取組みを進める。

Appendix

2025年3月期第3四半期 連結損益計算書

(単位:億円)

	25年3月期 第3四半期	24年3月期 第3四半期	増減	主な内容
売上高	8,281	7,873	408	
売上原価	7,133	6,823	309	
売上総利益	1,148	1,050	98	
販売費・一般管理費	870	796	73	
営業利益	278	254	25	
営業外収益	68	78	△ 11	為替差益(21)
営業外費用	36	30	6	
経常利益	310	302	8	
特別利益	98	87	11	投資有価証券売却益(92)
特別損失	3	33	△ 30	
税金等調整前四半期純利益	405	356	49	
法人税等	117	108	9	
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	24	31	
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	224	8	

2025年3月期第3四半期 セグメント・ユニット別

セグメント	ユニット	売上高				営業利益						経常利益				(単位:億円)
		25年3月期3Q	24年3月期3Q	前年対比		25年3月期3Q		24年3月期3Q		前年対比		25年3月期3Q	24年3月期3Q	前年対比		
				増減	増減率	営業利益率	営業利益率	増減	増減率	増減	増減率					
水産資源	漁業	341	277	64	+23.3%	1	0.3%	△ 5	—	6	—	8	3	5	+193.7%	
	養殖	132	125	7	+5.8%	△ 6	—	8	6.0%	△ 13	—	△ 3	11	△ 14	—	
	北米	1,390	1,284	106	+8.3%	24	1.7%	39	3.0%	△ 15	△ 37.9%	7	50	△ 43	△ 86.2%	
	セグメント計	1,863	1,685	178	+10.6%	19	1.0%	41	2.4%	△ 22	△ 53.5%	11	63	△ 52	△ 82.0%	
	(国内 内訳)	507	521	△ 14	△ 2.7%	△ 15	—	11	2.0%	△ 26	—	—	—	—	—	
	(海外 内訳)	1,356	1,164	192	+16.5%	34	2.5%	30	2.6%	4	+13.2%	—	—	—	—	
食材流通	水産商事	2,351	2,360	△ 10	△ 0.4%	59	2.5%	34	1.4%	26	+76.4%	59	38	21	+56.1%	
	食材流通	1,842	1,780	62	+3.5%	48	2.6%	58	3.2%	△ 9	△ 15.8%	54	63	△ 9	△ 14.0%	
	農畜産	731	720	12	+1.6%	17	2.3%	12	1.6%	5	+44.5%	19	19	△ 0	△ 0.4%	
	セグメント計	4,924	4,860	63	+1.3%	124	2.5%	103	2.1%	22	+21.1%	132	120	12	+10.2%	
	(国内 内訳)	4,894	4,834	60	+1.2%	124	2.5%	103	2.1%	21	+20.3%	—	—	—	—	
	(海外 内訳)	30	26	3	+13.1%	0	1.5%	△ 0	—	1	—	—	—	—	—	
加工食品	加工食品	1,285	1,127	159	+14.1%	110	8.6%	77	6.8%	33	+42.5%	124	76	48	+63.0%	
	ファインケミカル	56	54	2	+3.7%	9	15.6%	8	14.9%	1	+8.5%	8	8	1	+7.9%	
	セグメント計	1,342	1,181	161	+13.6%	119	8.8%	85	7.2%	33	+39.2%	132	84	48	+57.9%	
	(国内 内訳)	901	864	37	+4.3%	47	5.2%	62	7.2%	△ 16	△ 25.0%	—	—	—	—	
	(海外 内訳)	441	317	124	+39.0%	72	16.3%	23	7.2%	49	+214.1%	—	—	—	—	
	物流	139	135	4	+2.8%	24	17.1%	23	17.3%	0	+1.5%	22	23	△ 0	△ 0.8%	
	その他	14	12	2	+14.9%	11	77.1%	8	70.3%	2	+26.1%	11	9	2	+22.4%	
	全社	—	—	—	—	△ 18	—	△ 7	—	△ 11	—	2	5	△ 3	△ 59.3%	
	合計	8,281	7,873	408	+5.2%	278	3.4%	254	3.2%	25	+9.8%	310	302	8	+2.6%	
	(国内 内訳)	6,444	6,354	89	+1.4%	164	2.5%	194	3.1%	△ 30	△ 15.7%	—	—	—	—	
	(海外 内訳)	1,837	1,519	318	+21.0%	114	6.2%	59	3.9%	55	+93.2%	—	—	—	—	

【参考】直近4年間のセグメント・ユニット別

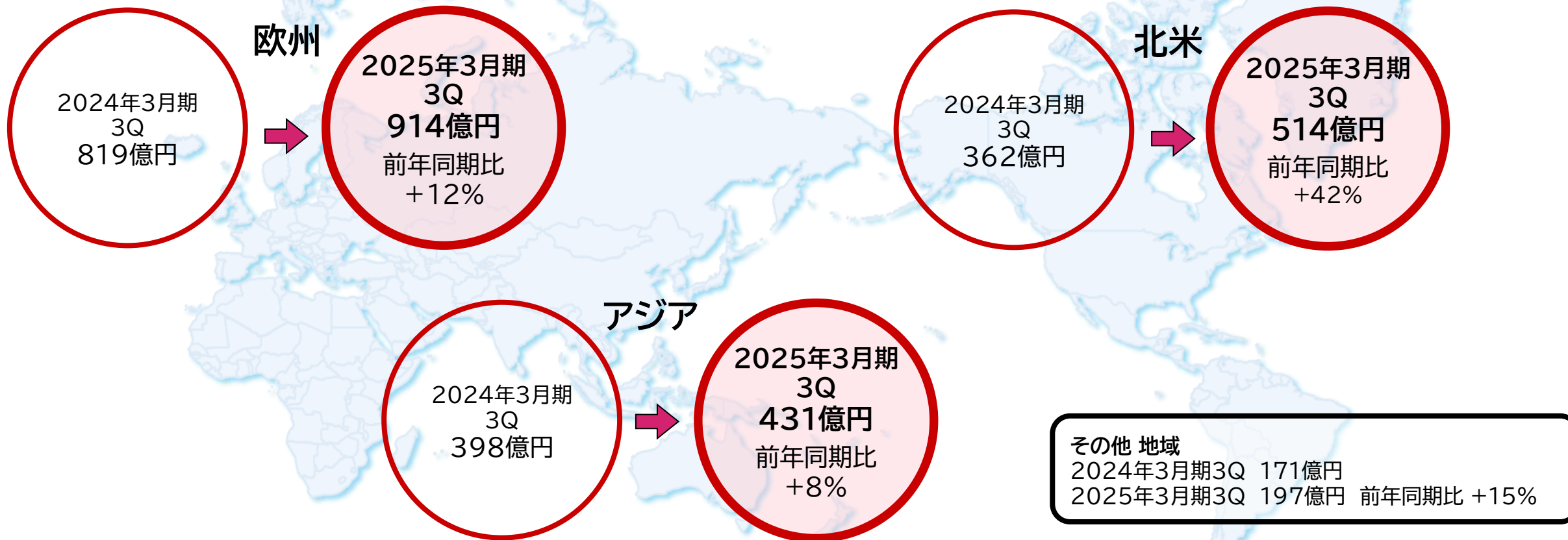
	売上高				営業利益				(単位:億円)
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (計画)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (計画)	
漁業ユニット	315	422	385	462	3	18	△10	20	
養殖ユニット	146	159	160	166	0	16	7	4	
北米ユニット	1,013	1,529	1,716	1,800	36	56	32	52	
水産資源セグメント 計	1,474	2,109	2,261	2,428	39	90	29	75	
(国内 内訳)	572	670	649	699	3	18	1	4	
(海外 内訳)	902	1,439	1,612	1,729	35	72	29	72	
水産商事ユニット	2,798	3,093	2,981	2,858	46	35	25	40	
食材流通ユニット	1,948	2,238	2,344	2,459	21	25	62	48	
農畜産ユニット	711	860	924	849	7	8	13	12	
食材流通セグメント 計	5,457	6,191	6,249	6,166	74	69	100	100	
(国内 内訳)	5,437	6,158	6,214	6,123	74	72	101	98	
(海外 内訳)	20	33	35	44	0	△3	△1	1	
加工食品ユニット	1,497	1,647	1,525	1,630	95	98	95	105	
ファインケミカルユニット	68	78	79	81	15	14	11	13	
加工食品セグメント 計	1,566	1,724	1,604	1,712	110	112	106	118	
(国内 内訳)	1,121	1,136	1,132	1,180	56	30	64	63	
(海外 内訳)	444	589	471	531	54	82	42	55	
物流	166	176	176	176	11	16	23	18	
その他/全社	4	4	17	18	5	9	7	△11	
合計	8,667	10,205	10,307	10,500	238	296	265	300	
(国内 内訳)	7,292	8,131	8,172	8,181	150	144	187	186	
(海外 内訳)	1,375	2,073	2,134	2,319	88	152	79	114	

※当スライドの数値は、参考情報として作成(2022年3月期数値は概算)
 ※国内…マルハニチロ(株)+国内連結子会社の合計、海外…海外連結子会社の合計

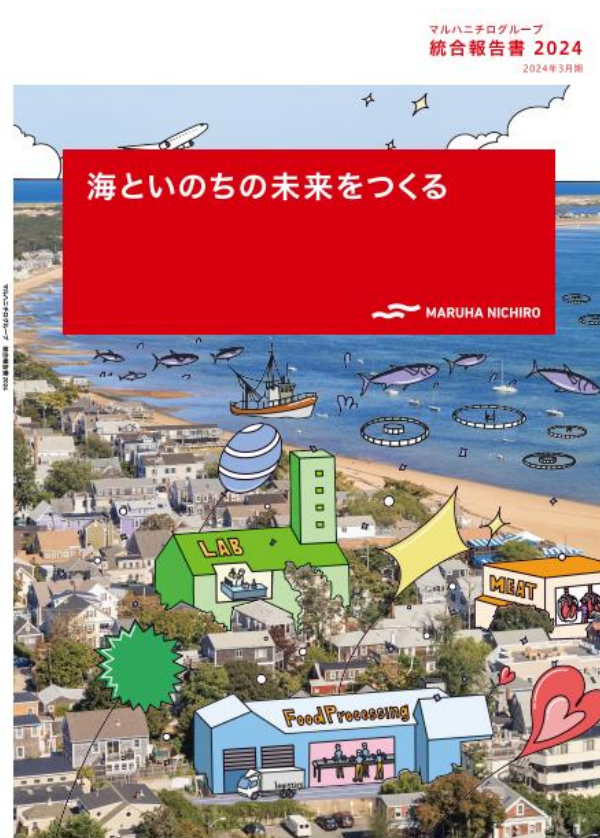
2025年3月期第3四半期 海外売上高

海外売上高	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	2025年3月期 (中計当初計画)
	1,750億円	2,055億円	2,150億円

海外売上高 比率	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	2025年3月期 (中計当初計画)
	22.2%	24.8%	22.4%



※本スライドにおける海外売上高とは、エリアごとの販売金額を示す



■特集テーマ1

「次の100年に向けて、水産物を持続的に提供するためのマルハニチログループの使命」



■特集テーマ2

「健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供プロジェクト」



■特集テーマ3

「誰ひとり取り残さないサプライチェーンの構築に向けて」



左記QRコードまたは下記URLよりご覧ください。
<https://www.maruhanichiro.co.jp/corporate/sustainability/report/>

Thank You



MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。